



Topic 01 自然とともに生きる仕事

「植木屋になろうと思っていたわけじゃないんです。先輩に紹介されて始めたのがきっかけでした。」

そう話すのは、植木業と牡蠣の養殖を営む「株式会社佐渡活」の本間さんです。

最初は「この時代に植木屋で食べていけるのか」と不安もあったといいます。ですが、庭木の手入れを自分でできなくなった高齢者が増える中で、その仕事は確かに必要とされていました。今では社員4人とパート2人を雇い、地域に欠かせない存在になっています。



Topic 02 「ありがとう」が一番のやりがい

「ぼさぼさだった木がすっきりして『ありがとう』と声をかけてもらえる瞬間が一番うれしいです。」
植木屋として働く中で、地域の方々との出会いも人生を豊かにしてくれたといいます。直接お客さんからお金をいただく経験を通して「今日頑張ったことがお金になるんだ」と実感し、仕事の手ごたえも大きくなったそうです。

Topic 04 仲間とともに会社をつくる

「スタッフとはなんでも言い合える関係を大事にしています。3か月に1度の面談で、意見や要望を聞きながら会社をつくっています。」

土日休みを基本にしつつ、夏は忙しい分、冬は週休3日制に。働く人の暮らしを大切にする工夫も続いています。

Topic 06 高校生へメッセージ

「自然の中で働けるのは佐渡ならではの魅力です。自分が得意じゃないと思っていたことも、やってみると案外向いていることもある。将来の仕事選びに迷ったら、まずは挑戦してみてください。」
木や花、そして牡蠣。佐渡の豊かな自然とともに生きる仕事は、これからの地域を支える力になっています。



Topic 03 夏は庭仕事、冬は牡蠣の養殖

「外仕事は暑さや機械の扱いの大変さもありますが、それ以上に自然の中で働く気持ちよさがあります。」

冬は庭の仕事が減るため、2年前から牡蠣の養殖を開始。従業員と一緒に、春から秋は庭木の仕事、冬は加茂湖で牡蠣の出荷や世話をしています。こうして年間を通して仕事を生み出し、雇用を守っています。

Topic 05 家族と自然に支えられる暮らし

本間さんには3人の子どもがいます。週末や休みの日は家族との時間を大切にし、子どもと遊んだり自然と触れ合ったりする時間を過ごしています。「佐渡の自然は都会にない魅力です。木や花、湖や海と毎日触れ合える環境で働けるのは、本当に幸せだと思います。」

投票は公式LINEから



(株) 佐渡活 のHP

